

【総括表】

部局(庁)名

あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(地域振興局)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鹿角地域振興局庁舎	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
2	北秋田地域振興局庁舎	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	大館市	存続	大規模修繕を実施
4	山本地域振興局庁舎	能代市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局庁舎	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局庁舎	大仙市	存続	大規模修繕を実施
7	平鹿地域振興局庁舎	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局庁舎	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9	鹿角地域振興局職員会館	鹿角市	廃止	集約化(従)を実施
10	北秋田地域振興局職員会館	北秋田市	廃止	集約化(従)を実施
11	山本地域振興局職員会館	能代市	廃止	集約化(従)を実施
12	由利地域振興局職員会館	由利本荘市	廃止	集約化(従)を実施
13	仙北地域振興局職員会館	大仙市	廃止	集約化(従)を実施
14	平鹿地域振興局職員会館	横手市	廃止	集約化(従)を実施
15	雄勝地域振興局職員会館	湯沢市	廃止	集約化(従)を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

--

1	施設名	鹿角地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局庁舎	所在地	鹿角市花輪字六月田 1
施設面積	5,511.23 m ²	建設年	S40
構造・階数	鉄筋コンクリート造 3階建	台帳価格	110,201,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。 ・設置目的にも合致した使用状況となっている。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により地域振興局庁舎に生じた余剰スペースを活用、オフィススタンダードの推進により空きスペース等を確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りなが今後20年程度使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。
・空調設備等の耐久性は低いが、大規模修繕により対応可能。
・職員数の減少による効率性の低下は、課室の再配置により対応予定。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新や屋根防水改修を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

鹿角地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷温水発生機他機器	40,060	
R03	空調自動制御設備更新	26,644	
R04	屋上防水改修	15,316	
	(合 計)	82,020	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,611	5,611	5,620	
運用コスト	8,054	8,044	6,637	
修繕コスト	30	0	6	
その他				
(合計)	13,695	13,655	12,263	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

2	施設名	北秋田地域振興局庁舎
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局庁舎	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	5,288.51 m ²	建設年	S 4 6
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	146,918,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・空調設備は、20年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	煙突改修	31,838	
R4	冷温水発生機	65,000	
R5	屋上の防水改修	14,400	
	(合 計)	111,238	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,768	6,768	6,768	
運用コスト	7,896	7,896	7,896	
修繕コスト	2,000	2,000	2,000	
その他	316	316	316	
(合計)	16,980	16,980	16,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

3	施設名	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎
---	-----	------------------

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	所在地	大館市片山町三丁目
施設面積	800.73 m ²	建設年	S 6 0
構造・階数	W造・1階	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・多くの設備の老朽化が進行しており、改修が必要となっている。

5 管理に関する実施方針

- ・暖房、冷房設備更新、給排水配管等更新、照明器具更新を行い、併せて省エネ化を図る。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局大館地区総合庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	暖房設備更新工事	5,000	
R4	冷房設備更新工事	5,000	
R4	給排水管等更新工事	5,000	
R4	照明器具等更新工事	1,000	
	(合 計)	16,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	943	943	943	
運用コスト	1,089	1,089	1,089	
修繕コスト	300	300	300	
その他	77	77	77	
(合計)	2,409	2,409	2,409	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

4	施設名	山本地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局庁舎	所在地	能代市御指南町
施設面積	6,324.05 m ²	建設年	S44
構造・階数	RC 3 階	台帳価格	165,979,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。
--

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。
--

4 管理上の課題等

・水道管は昭和44年に配管されたものであり、老朽化により度々水漏れが発生している状態である。 ・埋設ガス管は敷設から30年以上経過しており、腐食部分からガス漏れのおそれがあるため、経済産業省より更新するよう強く要請されている。
--

5 管理に関する実施方針

オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

山本地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備改修	1,193	
H30	冷温水発生機	61,665	
H31	外壁改修等	8,188	
R4	埋設ガス管耐震化	4,485	
R4	柱形パネル交換	4,517	
R4	パネル溝シーリング加工	4,911	
	(合 計)	84,959	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,602	6,879	7,143	
運用コスト	9,675	9,725	8,232	
修繕コスト	1,867	2,958	1,957	
その他				
(合計)	18,144	19,562	17,332	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

5	施設名	由利地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局庁舎	所在地	由利本荘市水林
施設面積	5,933.36 m ²	建設年	S 3 8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	152,312,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・電気設備は、悪天候時に低圧絶縁抵抗値が不良となる箇所がある。また、引込ケーブルやキュービクルの更新・補修の検討が必要である。
・空調設備は、製造（平成7年）から20年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

由利地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	受変電設備更新	1,553	
R2	受変電設備更新	44,864	
R4	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	111,417	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,750	6,752	6,757	
運用コスト	8,882	8,378	6,590	
修繕コスト	1,779	1,218	1,012	
その他				
(合計)	17,411	16,348	14,359	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

6	施設名	仙北地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局庁舎	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	6,556.27 m ²	建設年	S 4 2
構造・階数	R C 3 階	台帳価格	145,345,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性等は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。
・早期に冷暖房設備の更新、防火シャッターの更新が必要となる。
・職員会館の機能を集約するに当たって、壁、ドア等の大規模改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

仙北地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	冷温水発生機	65,000	実施設計含む
	(合 計)	65,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,225	6,296	6,513	
運用コスト	13,090	12,713	10,799	
修繕コスト	2,144	1,099	2,369	
その他				
(合計)	21,459	20,108	19,681	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

7	施設名	平鹿地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局庁舎	所在地	横手市旭川
施設面積	5,666.45 m ²	建設年	S 4 5
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	166,878,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・横手市との機能合体により庁舎内の余剰スペースはほとんどなく、行政庁舎として代替性はないことから、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・横手市との機能合体分野の拡大で、平成25年度から庁舎の一部機能を職員会館へ移管済み。オフィススタンダードの推進により、福祉環境部の庁舎も含め、更なる機能の集約・複合化の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の推進のため有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・屋根防水、耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・庁舎内部のタイル等が剥がれる事例が多発している。

5 管理に関する実施方針

- ・必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

平鹿地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根防水改修	12,243	
H31	冷暖房設備設計	3,546	
R2	冷温水発生機	102,115	
R2	非常灯更新工事	5,577	
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,371	
	(合 計)	124,852	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,845	6,282	5,517	PCB処理(H26)
運用コスト	10,099	10,656	9,235	
修繕コスト	39,624	2,243	20,533	鉄塔更新(H27)、太陽光(H25)
その他				
(合計)	56,568	19,181	35,285	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	150	150	150	50(来客駐車場)×3回転程度か

8	施設名	雄勝地域振興局庁舎
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局庁舎	所在地	湯沢市千石町
施設面積	5,382.86 m ²	建設年	S41
構造・階数	RC造・3階	台帳価格	122,998,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・早期に冷暖房設備の更新が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

雄勝地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	65,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,892	5,018	5,320	
運用コスト	7,843	5,948	5,315	電力料金、ガス料金、冷暖房用燃料、上下水道料金
修繕コスト	2,915	1,260	1,345	25年度照明器具修繕実施
その他				
(合計)	15,650	12,226	11,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,500	4,500	4,500	推計値

【個別票】

9	施設名	鹿角地域振興局職員会館
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局職員会館	所在地	鹿角市花輪字六月田 1
施設面積	265.05 m ²	建設年	S40
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建	台帳価格	11,965,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

鹿角地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

【個別票】

10	施設名	北秋田地域振興局職員会館
----	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局職員会館	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	270.54 m ²	建設年	S 4 7
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	12,717,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィスタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

・煙突内石綿対策（撤去若しくは封じ込め）工事が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	54	54	54	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	54	54	54	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	※本来目的として使用できない

【個別票】

11	施設名	山本地域振興局職員会館
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局職員会館	所在地	能代市御指南町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S47
構造・階数	RC 2 階	台帳価格	13,359,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

山本地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9	10	10	
修繕コスト				
その他				
(合計)	9	10	10	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

12	施設名	由利地域振興局職員会館
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局職員会館	所在地	由利本荘市水林
施設面積	265.05 m ²	建設年	S 4 6
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	11,965,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

由利地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	庁舎に含む
運用コスト	-	-	-	庁舎に含む
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

13	施設名	仙北地域振興局職員会館
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局職員会館	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S 4 7
構造・階数	R C 2 階	台帳価格	3,835,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・食堂及び理髪室は現在も利用されているが、それ以外では会議での利用がほとんどである。施設は、老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

仙北地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				振興局庁舎に一括記載
運用コスト				振興局庁舎に一括記載
修繕コスト				振興局庁舎に一括記載
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

14	施設名	平鹿地域振興局職員会館
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局職員会館	所在地	横手市旭川
施設面積	270.54 m ²	建設年	S47
構造・階数	R C 造、2 階建	台帳価格	11,415,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィスのスタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・横手市との機能合体により一部が市の倉庫として使用されている。地域振興局庁舎のオフィスのスタンダードにより生じた余剰スペースは有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

平鹿地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,371	
	（ 合 計 ）	1,371	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	103	102	90	
修繕コスト	126	31	200	H25内部改修(機能合体) H27漏水
その他				
(合計)	229	133	290	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

15	施設名	雄勝地域振興局職員会館
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局職員会館	所在地	湯沢市千石町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S48
構造・階数	RC造・2階	台帳価格	12,150,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

雄勝地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	煙突断熱材改修（実施設計）	1,678	
	（ 合 計 ）	1,678	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	庁舎に含む
運用コスト	34	38	40	ガス料金、上下水道料金 電気料金は庁舎に含む
修繕コスト	0	0	20	
その他				
（合計）	34	38	60	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	20	35	20	25年度は推計値

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田県ゆとり生活創造センター）

1 施設の概要

施設名称	秋田県ゆとり生活創造センター	所在地	秋田市上北手荒巻字堺切2-4-2
施設面積	3,521.60 m ²	建設年	平成14年
構造・階数	木造平屋建	台帳価格	488,409,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 木造で、令和2年度末時点において築19年となっており、老朽化が進んでいる。今後、目標使用年数を定め、大規模修繕などにより予防保全型（未然に劣化・損傷等を防止）の管理を基本とする長寿命化対策を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。（類似施設もなく、複合化・集約化になじまないため、単独で存続）		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

施設を存続することとし、適切な維持管理を心がけると共に、平成29～令和7年にかけて建築物及び設備の修繕を計画的に実施する。

4 管理上の課題等

・経年劣化により、暖房設備、自動ドアモーター、外壁等の修繕交換等が必要となっている。

5 管理に関する実施方針

大規模修繕等により、予防保全型の管理による長寿命化を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。
また、躯体保護のため、木造の外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県ゆとり生活創造センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	暖房設備更新（パコティンヒータ等）	19,005	
R5	大会議室床塗装等	1,962	
R6	自動ドアモーター交換等	4,499	
	(合 計)	25,466	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,492	6,461	6,688	
運用コスト	14,204	13,923	13,992	
修繕コスト	1,500	1,838	2,602	
その他	0	0	0	
(合計)	22,196	22,222	23,282	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	5,587	5,793	5,656	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109,457	110,292	115,432	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(児童会館)

1 施設の概要

施設名称	児童会館	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	3,614.00 m ²	建設年	S55
構造・階数	RC造・地上4階地下1階	台帳価格	237,969,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内唯一の大型児童館で、県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。 建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

子ども博物館部分の国庫補助に係る処分制限期間が60年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、空調設備や自動ドア装置の劣化など、通常想定される設備の耐用年数の超過に伴う不具合が生じ、来館者へ影響があることから、できる限り早い対応が望まれる。

5 管理に関する実施方針

令和３年度に空調設備を更新するほか、劇場舞台設備の不具合箇所も多いことから、順次修繕を行っていくものとする。
また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は２０年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

児童会館に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
３	空調設備更新	126,606	
３	劇場空調設備（ダンパー等）修繕工事	5,811	
３～	ガラス壁面雨漏り修繕工事	5,588	
３～	自動ドア装置交換修繕工事	2,640	
３～	絞り緞帳更新工事	14,003	
３～	第一展示室展示物更新	19,000	
３～	レクリエーションホール展示物更新	21,000	
５～	舞台幕等更新工事	28,292	
５～	舞台床張替工事	63,019	
	(合 計)	285,959	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
(合計)	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（子ども博物館）

1 施設の概要

施設名称	子ども博物館	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	2,058.70 m ²	建設年	S55
構造・階数	RC造・地上4階地下1階	台帳価格	134,422,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 博物館法に基づく博物館相当施設であるが、機能は児童会館に一元化されている。利用者数も増加しており県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

児童会館と一元化されており、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

児童会館と一元化されており、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

国庫補助に係る処分制限期間が60年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、レクリエーションホールや展示ルームの展示物が陳腐化しており、新たな展示物等を望む声も高く、できるだけ早い更新が望まれる。

5 管理に関する実施方針

児童会館全体の修繕の進捗状況を踏まえ、科学展示物のあり方を検討する。
また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

子ども博物館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	児童会館の修繕に含まれる		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
(合計)	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	